

No. **76**

2016.12.30発行



からうら

イフ ニ サン
みんなでおもちつき



賛否分かれる ————— 2 ▶ 3

杉の子基金第1号 ————— 5

空からサンタがやってくる — 6

病院改築などに質疑 ————— 7 ▶ 15

(一般質問)

輪を広げよう ヤングファーマー — 16

9月会議から継続審議となっていた27年度決算は、ケーブルテレビ更新事業と町政60周年の新聞広告について自由討議、討論が行われ、採決の結果5対4で認定された。(3面に関連記事)

みかん
会議
(11月)

地方創生事業本格化

活性化センター建設費や宅地造成費、中山・横瀬簡易水道設計工事費などの補正予算や農業委員の選出が公選制から町長の任命制に変わる条例改正などを審議し可決した。

一般質問は全員が登壇し、勝浦病院改築に関する議論などが活発に行われた。

補正予算の主なもの

一般会計

- * 活性化センター工事費 3802万円
- * 災害復旧費 7250万円
- * 臨時福祉給付金 2400万円
- * 防火水槽(坂本地区など) ... 1100万円
- * 横瀬小学校体育館トイレ改修など 564万円

簡易水道特別会計

- * 中山・横瀬簡易水道設計、工事費 2億2687万円

集落排水特別会計

- * 設計、工事費 339万円



年頭のあいさつ

世界は動く 順応する力を

議長 国 清 一 治



新春を迎えおめでとうございます。世界が大きく動こうとする余震が去年から続いており、今年は大変革の予感がします。その中で、日本は、勝浦は「どう順応すべきか」を問われる年となります。気を引き締めてしっかりと町政に向かいます。

決算審査の質疑

新聞広告費

費用対効果に疑問

問 広告費54万円が当初予算で計上されていないにもかかわらず流用で執行された。必要性、費用対効果等、多くの疑問が残るが。

答 中田町長

町制60周年の広告記事をローカル新聞に掲載した。県民に広く周知する方法として適切だったのか、反省すべき点がある。今後は当初予算で計上し、深く議論ができるように取り組む。

ケーブルテレビ更改工事 計画内容や契約方法に 問題あり

問 ケーブルテレビ更改工事です特定の業者と計画を進めた。本来であれば業者からの提案書を比較し計画を進めるべきだった。また、IRU契約では、5社に対して提案書を1週間で求めるなど疑問を感じるが。

答 野上参事
専門知識に乏しい職員が事業を進めてきたが、反省点として、専門家に意見を求め機種選定をするなど、今後の事業に生かしたい。

反対討論 松田貴志、仙才守、井出美智子、森本守
担当職員が業者にアドバイスを貰いながら設計作業を行った。その業者が更改工事の入札に参加したことは、公平公正な入札の執行を妨げたと考える。IR

賛成討論 節公一、大西二司
ケーブルテレビ更新事業については、予算審議時と内容が異なることやIRU契約の進め方に疑義があるが、全体的な執行に瑕疵は認められないことから決算は認定する。

採決結果
反対 仙才、松田、森本、井出
賛成 松下、美馬、麻植、節、大西

U契約等においても、疑問点が解消されていない。

賛成討論 節公一、大西二司
ケーブルテレビ更新事業については、予算審議時と内容が異なることやIRU契約の進め方に疑義があるが、全体的な執行に瑕疵は認められないことから決算は認定する。

採決結果
反対 仙才、松田、森本、井出
賛成 松下、美馬、麻植、節、大西

27年度 決算認定(歳出)

一般会計	38億1970万円
特別会計	
国民健康保険	8億588万円
介護保険	8億8682万円
勝浦病院	6億5609万円
簡易水道	1億4917万円
後期高齢者	7943万円
農業集落排水	5216万円
物産販売	1043万円
住宅新築資金貸付	57万円

特に留意すべき事項

- 救急救命士導入による初期対応の充実に向け、積極的な取り組みをされたい。
- 学童保育の利用料金統一を図られたい。
- 勝浦病院の移転改築に向け、町民の声を聞き療養環境の抜本的な改善に努められたい。

議案に対する質疑



問 松田議員
宅地造成事業が遅れているが、今後のスケジュールと応募方法は。

答 柳沢建設課長
造成工事は来年1月末に完成予定で、公募は販売条件を整備し、12月末にはホームページに掲載する予定。



分譲がはじまる造成地

問 仙才議員
防火水槽工事費が1100万円計上されているが、内容は。

答 柳沢建設課長
坂本地区と石原地区の防火水槽工事に追加費が必要となった。

一般会計補正予算203
2万円（救急救命業務委託
費870万円など）と簡易

水道遠隔監視システム工事
契約（1億260万円）等
について審議し承認した。
また、教育長に椎野和幸
氏、教育委員会委員に木原
毅氏を任命することに同意
した。



12施設の水位、配水流量を庁舎内で常に監視できるシステム

町民の声

節議員

問 阿南方面通学タクシーの試行期間を終えて保護者会との協議結果、運行時間、便数、料金、運行体制はどうなったのか。

答 河野教育委員会事務局長
朝1便、帰り1便で料金は1回600円。
運行体制は現在のタクシー業者委託から町有車での運行を検討している。



視察をどう活かすか！

平成28年10月24日～26日

生活再建へ万全の体制整備を

視察先：熊本県益城町

救えた命ではないか

4月14日、16日と立て続けに震度7の地震に見舞われた益城町。最初の地震での被害は限定的で、日中の片付けが終わり自宅で就寝していたところを2度目の地震が発生、家屋倒壊により多くの犠牲者が出たが、前例にとらわれず対応していれば救えた命ではないか。

情報伝達手段や家屋破損の応急措置に必要なブルーシートの確保、関係団体との事前協定締結など、今回の事例を参考に本町の防災対策を再点検する必要があると強く感じた。発災後、早期に生活再建が図られるよう、特別委員会で万全の体制づくりを議論したい。

救急救命業務への理解と協力を

視察先：宮崎県美郷町

美郷町は本町と同じように、常備消防がなく、救急搬送業務を役場職員で対応していた。

出勤件数が増え専門知識や技術を持たない職員での対応では安心安全の確保が難しくなっていた。

このため27年6月、日本で初めて日本救急システム(株)に民間委託し、病院との連携を密にすることで効率的で安定した業務体系を確保している。

さらに隊員自らが率先して地域のイベントに参加したり、専門知識を生かして町民対象の講習会を実施するなど、地域住民一体となった取り組みへと発展している。

本町でも29年4月から救急救命士が同乗した救急救命業務が始まる。新たな取り組みを応援する雰囲気づくりや、移住者としての隊員を町全体で温かく受け入れる環境づくりが重要だ。



勝浦病院改築 特別委員会

新病院についての 協議始まる

問 移転場所は

答 病院東側の駐車場とする。

問 用地は東側ありきではなかったのか。

答 町の中心部として、施設の隣接もあり福祉ゾーンである。

問 診療科は。

答 透析や常設の小児科の要望はあったが、現在の体制では難しく、現況の4科（内科、外科、整形、小児科）を堅持したい。

問 ベット数は。

答 ベット数について様々な意見があったが、国の方針や必要ベットの数を考え48床から50床と提案している。個室増の意見あるが基本計画で検討する。

問 町民の声を聞く機会を作るべきでは。

答 パブリックコメントも実施するが、直接住民の声を聞く機会を作る。

問 屋上ヘリポートは。

答 工費が高くなるので病院跡地に整備予定。



暗くて狭い廊下

■その他

- ・ 疾病予防や健康づくり、病院と役場、介護施設の連携によるサービスの一本化を検討すべき。
- ・ 職員が働きやすいように現場の意見をもっと聞くべき。
- ・ 財源の見通しをしつかりと立てるべき。
- ・ 用地関係者には配慮をしておくべき。
- ・ 町道を新設して、徳バスが直接乗り入れできる様に。

我ら 起業人

痛くない！ 阿波踊りの下駄

河野千夏さん（34歳）
修平さん（38歳）

杉の子基金第1号

きっかけは

阿波踊りで、女性が下駄の鼻緒が食い込んで痛いというのを聞き、改良できないかと考えていた。5年前から試作品を作っていたが、昨年「徳島県発明工夫展」で会長賞を受賞したので、商品化を計画。

発明のポイントは

下駄とタビを固定できるようにし、鼻緒が指に食い込まないように工夫している。

今までの経緯は

地元のやっこ連の人たちなどにモニターになってもらい、改良を重ねてきた。

商品化は

試作品をネットで流してみたところ、良い反響があったので、来春からの生産・販売をめざしたい。

補助金の用途は

機械器具の購入に充てたい。



一般質問

各議員の動画中継はそれぞれ掲載ページのQRコードから見られます

質問議員	質問事項	ページ
仙才 守	1、ケーブルテレビ、料金見直しを 2、コンピュータ、専門部署の創設を	7
松下一一	1、勝浦病院改築事業、跡地の利用計画は 2、沼江バイパスの進捗状況は 3、災害復旧の補助拡大を 4、免許返納者へのサービスを 5、防犯灯の新設は	8
美馬友子	1、定住対策、職員は町内に在住を 2、病院改築に伴う施設の充実を	9
麻植秀樹	1、交通安全対策、シニアカーの安全確保を 2、台風被害は 3、病院改築事業	10
森本 守	1、キトサンや微生物の有効利用を 2、身寄りのない人の葬儀は 3、広域ごみ処理計画は	11
籾 公一	1、地域活性化センター、段階的に整備を 2、檜淵地区急傾斜工事 3、新教育委員会制度	12
松田貴志	1、救急救命士、消防団への加入を 2、死者ゼロめざし耐震化を 3、災害時の対応は万全か	13
井出美智子	1、ベビー用品の貸出制度創設を 2、クローラー用園内道舗装に補助を 3、臨時職員の年休を労働基準法どおりに	14
大西一司	1、生名谷川吐き出し口、早急に堆積土砂の撤去を 2、地籍調査、他の自治体に比べ遅れている。 スピードアップを 3、みかんブランド化、統一ダンボール増やす努力を	15

会議予定日

1月19日、2月15日、3月7日～10日、21日～23日

「空からサンタがやってくる」

★6月開催の子ども議会で横瀬小学校6年生の相原優理菜さんが提案

12月22日星谷運動公園に空からサンタがやってくる予定でしたが、雨天のため生比奈小学校体育館にサンタがやってきました。6年生45人が、サンタからのプレゼントの模型飛行機を作り上げ、飛行距離を競い合いました。来年も子ども議会を開催しますので、夢のある楽しい提案を待っています。





仙才 守 議員

ケーブルテレビ

料金見直しを

来年3月頃に協議予定 (参事)

問 インターネットを使っている家庭はどのくらいあるか。

答 野上参事
把握していない。業者から不明との回答を得ている。

問 この問題は何回も質問している。担当部門として関心はないのか。怠慢ではないか。
使用率について推測はできるか。

答 野上参事
推測もできない。再度業者に問い合わせる。

問 もっと現場を見てほしい。インターネットの普及活動はしているか。

答 野上参事
当初はしていたが、最近はない。

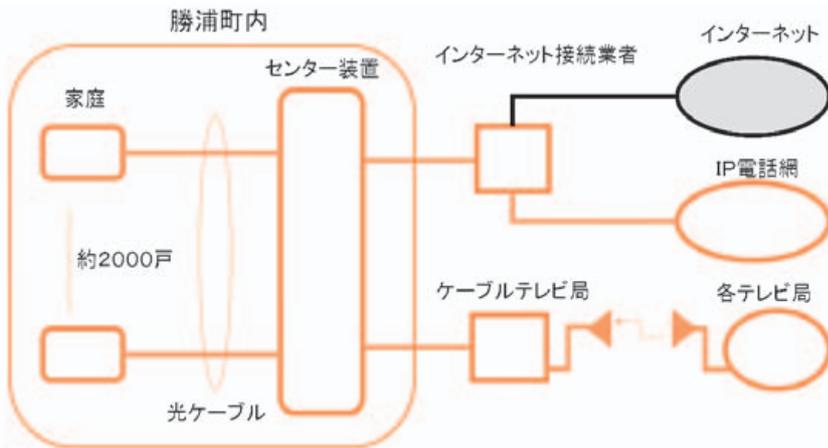
問 使用状況も把握せず、普及活動もしていない。楽ビジョンやVODを撤去したうえで、料金だ

けは徴収している。
月額料金2570円の
内訳は。

答 野上参事
導入時の住民説明会では、税抜きでテレビが1000円、インターネットが1070円、保守が500円となっている。

問 1070円はインターネット接続料金だと思

う。
接続を求めない家庭に
対する料金の減額について
業者と交渉してほしい。
答 野上参事
更改一年後(来年3月)を
目途に協議を予定して



インターネットを別料金にできないのか

いる。
ただ導入時の補助金の
関係で、国、県とも相談
する必要がある。

コンピュータ

専門部署の 創設を

問 今年度のコンピュータ
関連予算の総額および
内訳は。

答 野上参事
昨年度の実績は総額で
約1億1千万円、主な内
訳は委託費8800万円、
リース料1500万円、
購入費500万円。
今年度の予算総額は約
1億2千万円となってい
る。

問 予算時の査定はどの
ようにしているのか。

答 野上参事
各担当課で査定してい
る。

問 各課で別々に査定す
るのではなく、専門性を
もった部署を作り一元的
に対応してはどうか。

答 野上参事
大規模なシステム導入
の場合、企画総務課の情
報担当が支援することに
なっているが、より専門
的な知識や経験が必要だ
と認識している。

問 本町と同じシステム
を導入している県内の自
治体間で情報交換や研修
会をしているか。

答 野上参事
以前は情報交換会をし
ていたが、現在はやめて
いる。

■その他の質問
○災害発生時の
通信手段について



勝浦病院改築事業

跡地の利用計画は

駐車場に利用 (地方創生推進室長)



松下一 議員

一般質問

問 新病院を東側に新築した場合、現在の病院跡地の利用計画は。また、新病院と特養などの福祉施設との動線は。

答 笠木地方創生推進室長 跡地は当面、駐車場として利用する予定である。新病院と福祉施設の動線については、スムーズな移動を確保する計画だが、現状と同じようにするのは難しい。

沼江バイパスの進捗状況は

問 沼江バイパス3期工事の進捗状況は。また、完成に向けて掘削インター、阿南インターへのアクセス道路を整備しては。

答 柳沢建設課長 現在までに境界立会、補償物件の調査が終わり、用地交渉を進めている。買収後に工事着手する予定である。

答 中田町長 高速道路へのアクセスは重要と認識しており、県や小松島市、阿南市と協議していく。

災害復旧の補助拡大を

問 台風などによって農林道や畑が被害を受けた場合、工事費が40万円以下だと災害復旧の対象にならない。材料費の補助率を上げたり、鉄板の貸し出しはできないのか。

答 海川産業交流課長 原則、国庫補助金を活用できる事業を検討してもらいたい。町単事業として農地農業用施設保守事業を制度化している。

答 柳沢建設課長 町有の鉄板は空いている時は貸し出しできる。

免許返納者へのサービスを

問 最近、高齢ドライバーによる交通事故が増えている。運転免許証を返納する高齢者に対し、返納後の運動機能維持のため、手押し車などを進呈しては。

答 大西福祉課長 勝浦町では27年度に4名が返納された。町の取り組みとして、タクシー券の助成や買い物支援バスの運行を実施している。手押し車についてはニーズ調査をしたい。



高齢者の交通事故が社会問題に

防犯灯の新設は

問 危険性がある場所に防犯灯を新設できない理由は。年次計画を立て設置すべきでは。

答 野上参事 経費の問題があり、新設ではなく区内の移動で対応してもらいたい。

その他の質問

○ 地籍調査は急ぐべき
○ スズメバチ等の駆除対策は



定住対策

職員は町内に在住を

町外の職員数は43人（1111人中）（参事）

問 地域活性のためにも役場職員が率先して町に住むべきでは。町外在住の職員数は。

答 野上参事

職員数1111人のうち、町外に住所を置く職員は43人。

問 採用時に勝浦町で住むことを条件にしているのか。

答 町に住んで自分が提供したサービスを受けてみるべきでは。

答 藪下副町長

顔が見える環境は大事であるが、居住を採用の条件にはしていない。

答 中田町長

役場に籍を置く以上、

どこに住んでいても住民に対するサービスは、満遍なくしていくのが基本スタンスである。

問 危機管理上問題はなのか。

答 野上参事
せめて防災担当は、在住すべきではないのか。

答 野上参事

町内が望ましいとは思いますが、誰が抜けても業務に取り組む事はできる様訓練している。

病院改築に伴う施設の充実を

問 改築案では町道を渡って福祉施設に移動しなくてはならない。新病院に町道新設の考えはないのか。

答 笠木地方創生推進室長
建設時の作業道は、現道の利用も含め検討する必要があります。

町道の新設は実現の可能性について検討する。



笠木地方創生推進室長

答 中田町長

郵便局横の病院入口に信号機をつけたが、出入りがしにくいと指摘も受けている。

もつと入りやすい道の新設も含め、町民が利用しやすい病院を建設していきたい。

問 在宅強化をするなら訪問看護ステーションが必要では。看護師が生活の場に訪問し、療養生活を支援してくれなければ不安で在宅での生活や看取りはできない。

答 山田病院事務局長
訪問看護の実績は少なく、病院で対応できる範囲で考えている。

問 住民があちこちに行かなくても良いように医療、保健、福祉、介護等のサービスを一体化

答 中田町長

子供の遊び場の確保も大事なので、跡地活用で検討したい。

した施設を併設すべきでは。

答 中田町長
ワンストップで対応できるようにすれば住民のサービスにつながるが、今後の課題としておく。

問 病院の庭を開放して公園として活用できないか。

答 中田町長

子供の遊び場の確保も大事なので、跡地活用で検討したい。



美馬友子 議員



福祉施設の動線確保を

交通安全対策

シニアカーの安全確保を

講習会を実施する（住民課長）



麻植秀樹 議員

一般質問

問 高齢化で、最近シニアカーが増えてきており、小学生や中学生と同じ県道、町道を走行している危険ではないか。

答 節住民課長

歩道がない部分がたくさんあり、お年寄りの散歩や生徒、児童の通学時には少し怖いと感じる時がある。
シニアカーも増えており、歩行者と同じ扱いで

危険である。

問 シニアカー利用者の数は把握できているのか。

答 節住民課長

個人的な購入もあり、保有台数を全て把握できていない。

問 免許を返納すればシニアカーが必要となる。安全に使用するための講習が必要では。



気をつけてよー ほーやなあ

答 節住民課長
これから利用する方も含め年度内に講習会を開催できるように準備を進めている。

台風被害は

問 町内における今年の被害発生は。

答 柳沢建設課長

28年の災害は、合計29件。

河川が1、道路が12、農業施設道2、水路2、

林道2は年度内に復旧するよう計画中である。その他、山側からの土砂の崩れ、谷に土砂の堆積など10カ所ほどあったが執行、発注済みである。

問 生比奈小学校横の谷川の堆積土砂は除去したのか。

答 柳沢建設課長

土砂の堆積は見られるが、県の管理である。

5月に現地での調査、協議の予定である。

病院改築事業

問 改築に当たり、進め方には問題はないのか。

答 笠木地方創生推進室長

現在基本構想をまとめている段階である。

新病院の改築プラン、病院改築検討委員会や、議会の特別委員会等での意見と、9月の「地域医療を考える」講演会での参加アンケートなどである程度の住民の意見は得られたと考えている。
今後は広く住民からの意見を聞くためにパブリックコメントを計画している。

問 ヘリポートはどうするのか。

答 笠木地方創生推進室長

工事の計画段階で十分協議し、より良い場所への設置を計画したい。



早よのけてよ！





森本 守 議員

キトサンや微生物の有効利用を

水質改善や生ごみの減量化につながる (住民課長)

一般質問



キトサンはよう効くですよー

問 キトサンや微生物の有効性についてどう思うか。

答 海川産業交流課長
土の団粒化が図られ酸素含有量も高まる。果実の収量が増加し、栄養吸収や微生物にとっても好ましい環境になる。

答 節住民課長
キトサンは凝集材として優れ、有効微生物と組み合わせると、水質の改善や生ごみの減量化につながる。

答 椎野教育長
キトサンは多くの分野で効果が認められ、特定

健康食品に認定されている。子供たちの体質改善等に有効と言われている。

答 中田町長
環境面において、有効利用が図れるなら研究したい。

問 佐那河内村の「さくらもいちご」は一粒1000円するものがある。勝浦みかんも一個1000円で売れるように研究してはどうか。

答 海川産業交流課長
キトサンや微生物の活用がみかんの品質向上に有効なら、協議する場を作りたい。

身寄りのない 人の葬儀は

問 本町での葬儀費用は最低でいくら必要か。

答 節住民課長

一つの目安として、生活保護算定基準で17万5900円という数字がある。

問 お金も身寄りもない人が亡くなった時、勝浦町はどう対応しているのか。

答 大西福祉課長
社会福祉協議会、民生委員、地元役員に頼るしかないのが実情である。

問 小松島市・阿南市の火葬場の費用はいくらか。

答 節住民課長
火葬代は成人で小松島市が3万6千円、阿南市は8万円である。小松島市は新しい火葬

場が完成するので、来年度以降は新料金に改定されると思われる。ほかに棺・骨壺代等が必要である。

広域ごみ処理 計画は

問 徳島新聞に飯谷町に決定したとの報道があり、町長のコメントが掲載された。詳しい説明を聞きたい。

答 中田町長
候補地を選んだだけで決定した訳ではない。今後は分担金の人口割均等割りがあるのか留意していきたい。



地域活性化センター

段階的に整備を

経費削減に努めながら進める（副町長）



議員 公一 節

一般質問

問 活性化協会が十分に活動できていないうえ、方針や活動計画が会員、関係団体の間で共有されていない。

その状況で協会が運営する地域活性化センターの工事費約3800万円が、補正予算として11月会議に計上された。

当面の整備は必要最小限にとどめ、若い人たちのアイデアを聞きながら段階的に整備すべきでは。

答 藪下副町長

意見交換会の内容を参考にし、将来の発展性を考慮した内容になっている。

若い世代や外部の意見は積極的に取り入れ、経費削減に努めていく。

問 センター工事や備品整備は地元の大工さんで対応できるものがある。間伐材などを利用して、住民の手で作り上げていくことが大事ではないか。

答 藪下副町長
セルフビルド（自分で作り上げる）で対応できるものは積極的に取り入れていく。

檜沢地区 急傾斜工事

問 工事の完成予定が大幅に遅れているが、原因と今後の見通しは。

答 柳沢建設課長

一部の用地取得に時間がかかったことや工事内容の変更が原因となった。今後は現場西側からも工事を進める予定であるが、県が全体的に見直し中であり、完成時期については未定である。

問 集中豪雨や大型台風により大量の雨が降った場合、被害を防ぐための排水対策は十分か。

答 柳沢建設課長

県からは、基準に沿って十分に留意した設計に



あんなでかなかなか

なっているとの報告を受けている。

問 工事現場は地区の中心部であるため、美観に考慮した仕上がりが必要です。

答 柳沢建設課長

周辺との調和を図るため、緑化できる工法を予定している。

新教育委員会 制度

問 昨年、教育行政の法律が改正され、教育長が町長の任命制になった。人事権が町長に移ったことで、教育長の政治的中立性はより厳格に自覚すべきと思うが信念は。

答 椎野教育長

教育基本法に基づき、教育活動全般を指導していく。

また、自身の言動も十分意識し中立性は確保していく。





松田貴志 議員

救急救命士

消防団への加入を

業者に要望したい (参事)

一般質問

問 熊本地震をはじめ、多くの地震で家屋倒壊による犠牲者が出ている。被害を最小化するには耐震診断、改修事業の推進が重要である。現状と今後の取り組みは。

死者ゼロめざし 耐震化を

答 野上参事
宿舎として沼江、生名、棚野の物件を紹介している。
また、消防団への加入については要望していきたい。

答 大西福祉課長
社会福祉協議会にボランティアアセンタを設置、コーディネーターを配置し対応している。
また、各学校や各地区において災害時のボランティア活動を想定した訓練を実施し、研修会等へ

問 災害時のボランティア窓口を社会福祉協議会に設置するとなっているが、人材育成や訓練等は実施されているか。

災害時の対応は 万全か

答 野上参事
来年度に向け、耐震改修の推進を図るためのメニューを考えている。

答 柳沢建設課長
173棟で耐震診断を実施し、要耐震化が20棟ほどで改修済みが15棟である。
今年度は木造住宅の耐震改修現場体験ツアーを実施し20名の参加があった。



1秒をあらそう訓練がいのちを守る

問 多くの支援物資を受け入れることになるが、保管場所や配布、給付方法は。

答 野上参事
保管場所については農村環境改善センター、避難所となっていない公共施設を考えている。

問 災害時には多くの廃棄物が発生する。一時保管場所は確保できているか。

答 節住民課長
保管場所として、かなりの広さが必要になる。

また、保管場所や配布方法等について、町内の運送会社と協定締結に向け協議中である。
町内に適地は少ないが、グラウンド等の公共用地や民間の土地を含め、今年度、災害廃棄物処理計画を策定する。





ベビー用品の貸出制度創設を

安心して利用できるようにしたい (福祉課長)

井出美智子 議員

問 出産による保護者の経済的負担軽減と支援のためにベビー用品（ベビーカー、ベッド、チャイルドシート等）を貸し出す制度を設けたらどうか。

答 大西福祉課長
知り合い同士の譲り合いであればいいが、誰が使ったか分からないものは、使いたくないという声もある。

問 経済的にゆとりのない世帯には必要な施策であり、丸亀市では子育て用品をリユース（再利用）して有効活用している。同様の施策をしたらどうか。

答 大西福祉課長
子育て支援センターを通じて知り合いになり、安心して利用できるように取り組みたい。

問 板野町では、全員の保育料無料化を決定した。ぜひ、勝浦町でも検討を。

答 中田町長
板野町は特殊出生率が勝浦より低く状況が違う。子育て支援はこれからも頑張つて取り組んでいく。



モノレールまでもっと楽に運びたいなあ

クローラー用園内道舗装に補助を

問 みかん収穫作業の負担を軽減するために、「町単補助要件の幅員1mを見直して欲しい」との声

がある。舗装したくても補助対象にならない。ぜひ実施を。

答 海川産業交流課長
車の通行のための補助となつていたが、実情を調査する。

答 中田町長
みかん産業振興のために必要であれば、取り組む。

臨時職員の年休を労働基準法どおりに

問 正規職員と同じ仕事をしているのに、半分から6割の賃金で雇止めにによる雇用不安を抱え働いている。臨時職員は何人いるのか。

問 正規職員は100人で臨時職員はその半分に相当する。この人たち無しには、役場が機能していかない。労働基準法どおりに年休を取れるようにしたらどうか。

答 野上参事
26年10月から年次有給休暇を12か月で10日付与している。

問 総務省通達は労働基準法を遵守するよう言っている。何年も継続して勤務している場合は、2年の繰り越しを認めるべきでは。

答 中田町長
近隣市町村の中では、有給休暇制度は同等の内容であり、今後検討する。

答 野上参事
病院17人、地域おこし協力隊3人を含めると50人。



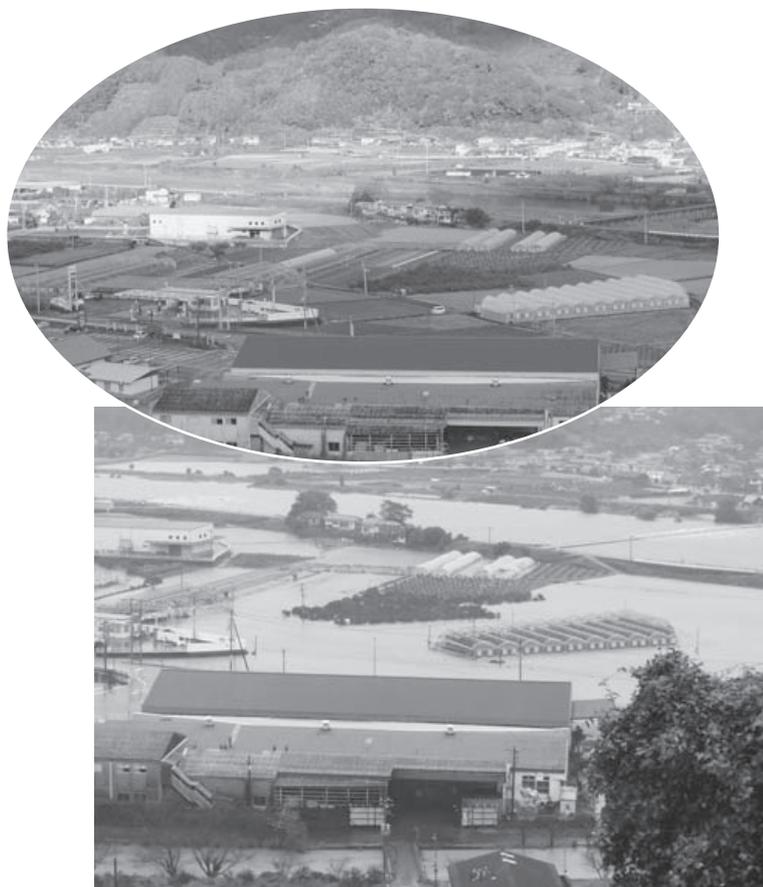


大西一司 議員

生名谷川吐き出し口

早急に堆積土砂の撤去を

県に要望書を提出し協議を進める（町長）



こんなに浸かるんでよ

問 生名谷川では大雨が降ると下流付近の道路、田畑は完全に冠水し、住民の生活に大きな影響を与えている。吐き出し口の堆積土砂を除去し、谷川の流れをスムーズにして被害を少なくするなどの早急な対応が必要では。

答 柳沢建設課長
県議会でも取り上げられ、地元の区長からも要望書が提出されている。近く県土整備局と協議日程を調整したい。

答 中田町長
地元住民とともに県に要望書を提出し、早急に撤去できるよう取り組んでいきたい。

地籍調査

他の自治体に比べ遅れている。スピードアップを

問 地籍調査は県全体では33・2%進んでいるが、本町では約15%しか進んでいない。様々なメリットがある上、地元負担の少ない事

業であるが、事業費は年平均2600万円以上。勝町の3分の1以下である。組織体制をしっかりと整えスピードアップを図るべきでは。

答 中田町長
本町でも土地所有者の高齢化や山林の不在地主も増えている。スピードアップの必要性は十分認識しており、体制づくりを含め事業が進捗するよう取り組んでいく。

00ケース前後で推移しており増えていない。ブランド化を進めるには数の確保は重要だ。JAや出荷組合と協議を進めるべきでは。

答 海川産業交流課長
統一ダンボールの使用率向上に向けては、「勝浦みかん生産販売促進協議会」で対策を協議した。今後は統一した栽培管理によって品質向上につなげたい。

また、貯蔵みかんの機能性を表示できるよう取り組みたい。

みかんブランド化 統一ダンボール 増やす努力を

その他の質問

- 地域活性化センターの取り組みについて
- 恐竜化石 県・町で広く発信を
- 県道改良工事進捗状況について

問 勝浦みかんのブランド化を進める一歩として、統一ダンボールを推奨しているが、毎年7万50





勝浦農業の宝

ヤングファーマーを紹介♪

- ① 就農しようと考えたきっかけは
- ② 今後の展望は
- ③ 農業を志す若者にエールを

たけ だ やす のり
武 田 恭 典 さん (39歳) 生 名



両親とみかん園2ヘクタールを栽培。産直市への出荷で頑張っています。



- ① 親がみかん専業でがんばっていたので、自然とみかん作りをするようになった。
- ② 親は市場での販売が中心だが、自分は産直市を中心に販売を広げていきたい。
- ③ 仕事はきついけど、自分のペースで働けるし、農業をしていることで、周りから励まされる。いろんな輪が広がるので一緒にがんばりましょう。



- ① 会社の営業で農家を回っていましたが、農業にあこがれ思いきって就農しました。
- ② アスパラの収穫と貯蔵みかんの出荷の間があくので、冬の間収入となる作物を探しています。切れ目なく収入があるようにしたいです。
- ③ 農業は、自由な時間と何をやるのかを自分で決めて働けるのが魅力です。



町内ではめずらしいアスパラとみかんを栽培しています。



やま むら ゆう いち
山 村 裕 一 さん (46歳) 今 山

表紙写真
保育園児合同おもちゃつき



知事とファイフ

「人の行く裏に道あり花の山」
これも一つの事実である。(公一)

これは偶発的に起きたのではない。現状を変えたいと思うアメリカ国民の意識は、ゆつくりとではあるが確実に広がっていったということだ。
評論家や専門家は、過去の経験で判断しがちのため読み違えたのである。こつあつてもいいという主観が働いたのかも知れない。

「奇跡的な大逆転」「世界に衝撃」「想定外の結果」。これはアメリカ大統領選挙直後の各新聞トップ見出しである。
日本、アメリカ両国のマスコミはクリントン候補の勝利は確実と報じていた。

編集後記

